



北海道 防衛HOKKAIDO

編集・発行
防衛省北海道防衛局 広報誌等編集委員会

札幌市中央区大通西12丁目 札幌第3合同庁舎
TEL 011-272-7579
<https://www.mod.go.jp/rdb/hokkaido/>



計根別飛行場での空地共同訓練（別海駐屯地）

「絆」（きずな）別海町と別海駐屯地の紹介 p2～p3

北海道防衛局ホームページをリニューアル p4

北海道防衛局広報誌の名称が変わりました p4

業務量増大に対応するため事務室の場所が変わりました p5

在日米海軍司令官ラティ少将が来局 p5

自衛隊施設の強靭化に向けた学識経験者の現地視察 p6～p7

自衛官採用案内 p8

2024
04
vol.89

きずな 「糸」

のつけ
野付半島

〒086-0205

野付郡別海町別海常盤町280番地

電話 0153-75-2111

<https://betsukai.jp>



雪原をかけるエゾシカの大群や野鳥たち、しばれた日の朝に現れる幻の四角い太陽。のんびり草をはむ牛たちと、しづくたての生乳。びっくりするほど大きくてあまい野付のホタテ。
「ここまで来ると、べつ・せ・かい」

別海町

別海町と別海駐屯地の紹介

曾根 興三町長



©柄木孝志

流氷と四角い太陽

生乳生産量日本一の食糧基地

別海町（べつかいちょう）は北海道の東部に位置し、総面積1,319.63km²、人口約14,000人で、ラムサール条約湿地に登録されている野付（のつけ）半島や風蓮湖（ふうれんこ）など豊かな自然環境を有する、酪農と漁業のまちです。

広大な大地で約11万頭の牛が、いのちを育みながら新鮮な生乳を生み出しており、生乳生産量は日本一です。

また、沿岸部では秋サケ・ホタテ・アサリ・ホッキや、希少価値の高い北海シマエビなど様々な海産物が水揚げされています。

自衛隊との関わり

別海町には、国内最大の矢臼別演習場が所在し、全国の各部隊による演習が展開され、年間約300日、延べ26万人以上の隊員による大規模な訓練が行われています。

また、町内には道東第一線の部隊である陸上自衛隊別海駐屯地が置かれ、隊員約300名が常駐しています。

隊員の方々には災害時における支援はもとより、本来任務を離れて御家族と共に町の諸行事や地域活動に積極的に参加いただくなど、地域との密着した協力関係が築かれています。

さらに、昭和54年6月に発足した「別海町自衛隊協力会」は総勢320名を超え、自衛隊の諸行事に協力することで隊員の激励や後援に努め、町民と自衛隊との架け橋となっています。



防災訓練

在日米軍との関わり

2月から3月の間に沖縄県道104号線越え実弾射撃訓練のために矢臼別演習場に来演した在日米海兵隊の有志10名が、ボランティア活動として別海町営パークゴルフ場で融雪剤の散布作業を町民のために行ってくださいました。



別海高校センバツ甲子園へ

1月26日、第96回選抜高等学校野球大会（センバツ甲子園）の出場校が発表され、北海道立別海高等学校野球部が21世紀枠で選出され、春夏通じて初の甲子園出場を決めました。

冬は気温マイナス10度を下回ることも多く厳しい練習環境のなか、昨秋の北海道大会に選手16人で出場し見事4強入りを果たしました。今後の別海高校の活躍に皆様の温かいご声援をよろしくお願ひします。



別海町出身の河崎さんが直木賞受賞

1月17日、直木賞の選考会が東京で開かれ、本町出身の河崎秋子さんの「ともぐい」が選ばれました。「ともぐい」は、明治時代後期の道東を舞台にしたヒグマと人間の物語です。

道東第一線 別海駐屯地

【別海駐屯地の紹介】

別海駐屯地は昭和40年に別海分屯地開設から昭和41年に駐屯地に昇格し、令和7年で60周年を迎えます。また、駐屯部隊として、第5偵察隊、第27普通科連隊第3中隊、業務隊及び諸隊が駐屯しております。



第5偵察隊長兼ねて別海駐屯地司令
2等陸佐 七理 陽一

【別海町との関係性】

その中で別海町には、日本で最大規模の矢臼別演習場が所在し、通年で全国各地の訓練部隊の使用及び日米共同訓練等が盛んに行われている事もあり、矢臼別演習場を管理する別海駐屯地としても、別海町と密接に連携を図るとともに、各種行事に対して相互に参加及び支援をしつつ、平素より良好な関係構築を図っております。

道東第一線の駐屯地として、使命感と責任感をもって道東における防衛警備・災害対応はもちろんのこと、いつ如何なる任務にも即応・完遂すべく、「地域・仲間・家族への感謝」をスローガンに、より信頼される駐屯地としていく所存です。



北海道防衛局ホームページをリニューアル

全国の防衛局のホームページがリニューアルがされ、北海道防衛局のホームページも情報をより分かりやすく発信するため、令和6年3月にリニューアルしました。

様々な端末に最適化されて表示されるなど、これまでよりも見やすくなっています。

これからも北海道防衛局の活動について適時適切な情報提供を行ってまいります。



北海道防衛局公式ホームページ

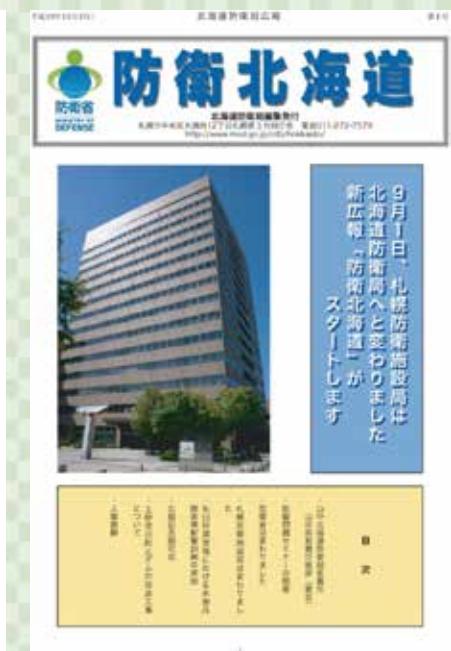


北海道防衛局広報誌の名称が変わりました

北海道防衛局広報誌は、平成19年9月に札幌防衛施設局から北海道防衛局へと組織が変わったことに合わせて「防衛北海道」として発行してまいりました。

この度、北海道防衛局公式サイトのリニューアルに合わせて広報誌「北海道～防衛HOKKAIDO～」と名称を変えて発行することといたしました。

これまでの「防衛北海道」を引き継ぎつつ、北海道の地域の皆様と防衛省との架け橋となることを目指して誌面作成してまいります。



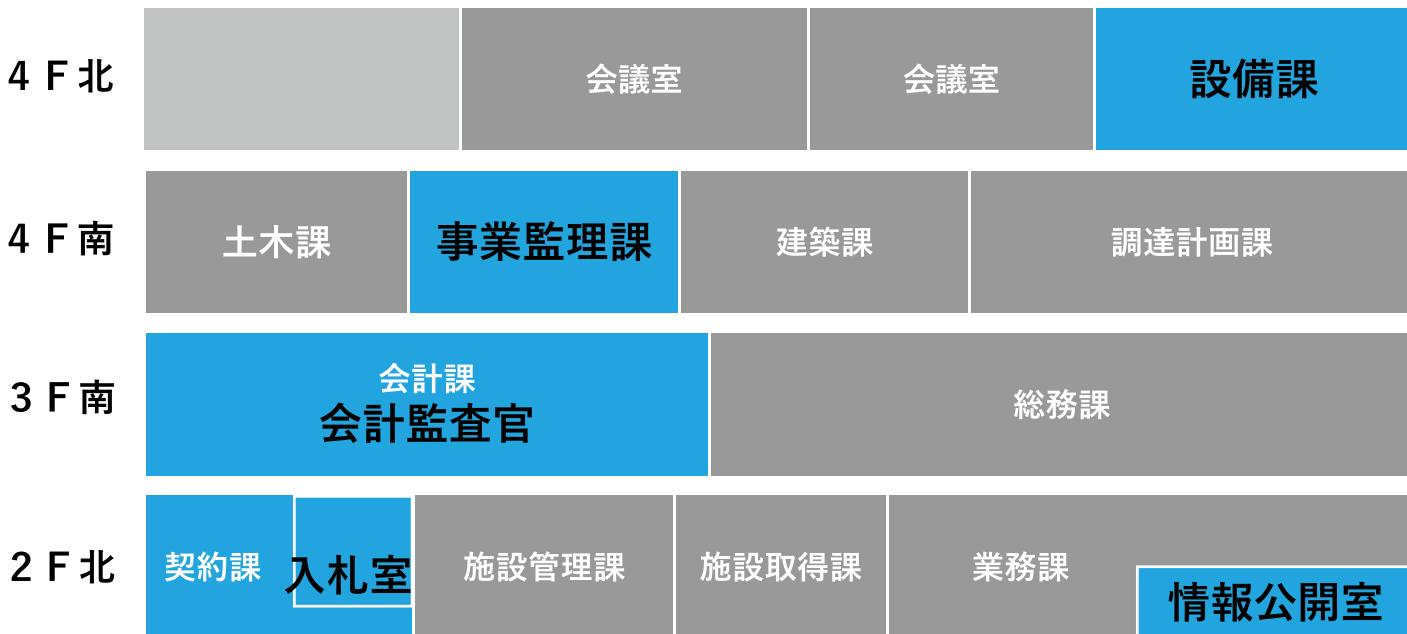
平成19年9月発行
「防衛北海道」第1号



業務量増大に対応するため事務室の場所が変わりました

北海道内の自衛隊施設の強靭化の一環である最適化事業等による業務の増加とそれに伴う職員の増加に対応するため、北海道防衛局内の事務室の配置が変わりました。

会計監査官、総務部情報公開室、入札室、調達部事業監理課、設備課がそれぞれ下の図の場所に移動しました。

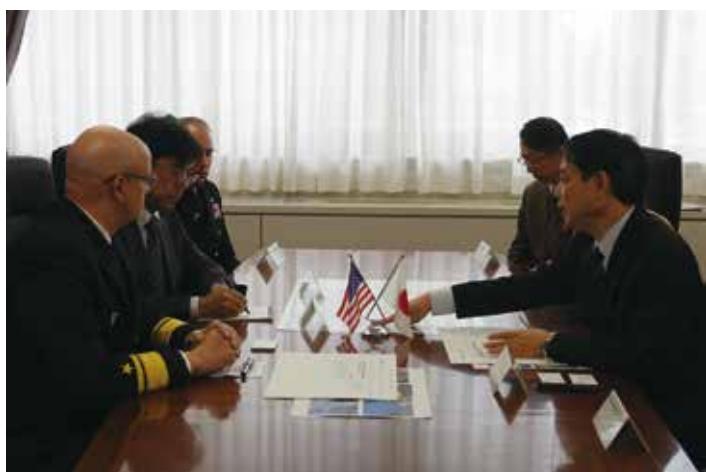


在日米海軍司令官ラティ少将が来局



2月8日、在日米海軍司令官ラティ少将が来道され、北海道や札幌市への表敬し、地域社会と関係を深めるとともに、さっぽろ雪まつりの雪像制作をおこなっている陸上自衛隊や米海軍三沢基地の隊員を激励を行いました。

来道中、ラティ少将は、北海道防衛局を訪問し、宮崎局長と懇談を行い、北海道における米海軍と地域社会との友好関係を促進し、関係を深める重要性の認識を共有し、記念品の交換を行いました。



北海道防衛局は、米軍と地域社会との友好関係の促進をサポートしてまいります。



米海軍三沢スノーチーム作成の雪像



自衛隊施設の強靭化に向けた学識経験者の現地観察

■ 北海道内の自衛隊施設の課題

北海道内における自衛隊施設等については、およそ半数の建物が旧耐震基準に基づき建設されたものです。中には旧軍時代からの建物を現役で使用している事例も多くあります。

これらの現在の耐震性能基準を満たしていない建物については、安全性を確保する観点から早期の老朽更新が求められてきました。また、隊員の生活・勤務環境改善についても、早期の実施が求められています。

■ 防衛力の抜本的強化

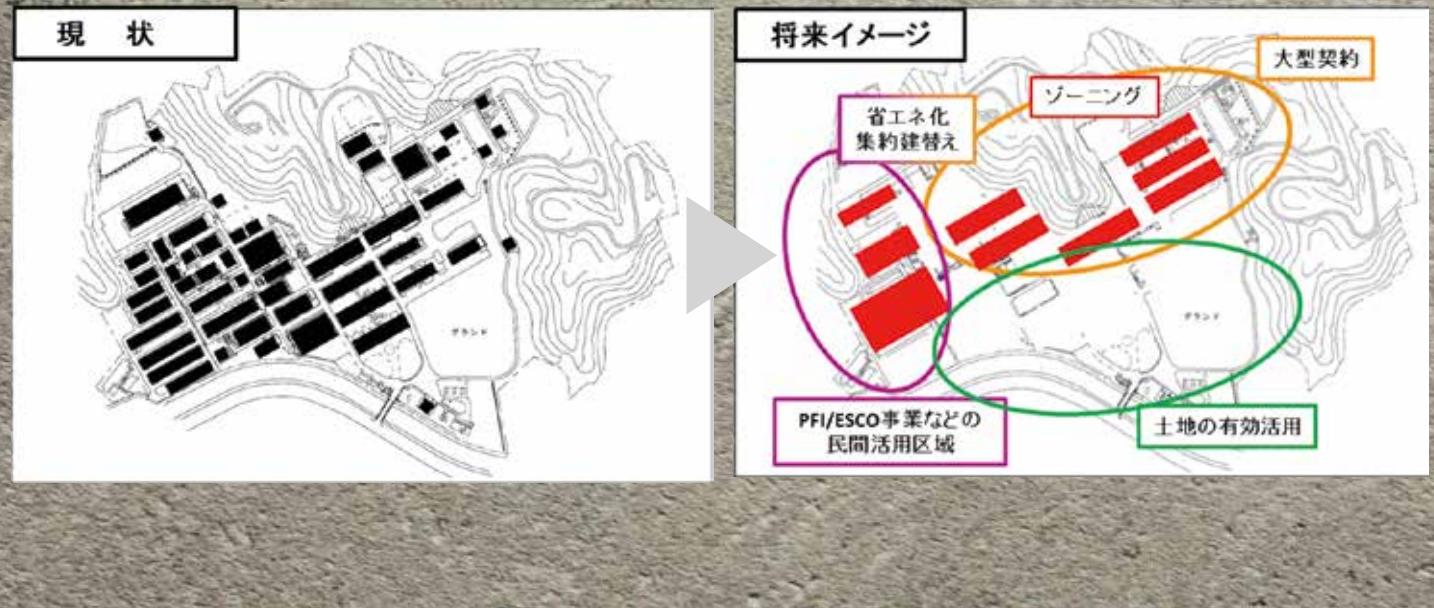
我が国は、戦後、最も厳しく複雑な安全保障環境に直面しています。国民の命と平和な暮らしを守り抜くためには、その厳しい現実に正面から向き合い、相手の能力と新しい戦い方に着目した防衛力の抜本的強化を行う必要があります。こうした認識の下、政府は、令和4年12月、新たな国家安全保障戦略、国家防衛戦略、防衛力整備計画を策定しました。

■ 自衛隊施設の強靭化、最適化事業

防衛力の抜本的強化の柱の一つとして、持続性、強靭性（自衛隊施設の強靭化）が位置づけられ、政府の方針として、隊員の生活・勤務環境改善や施設の老朽更新などを速やかに進めていくことになりました。

最適化事業（既存施設の更新等）

北海道の各基地・駐屯地等（約50地区）に保有されている約2,700棟の建物やライフラインなどにおいて現状を把握・評価を行い、施設の機能・重要度に応じた構造強化、離隔距離確保のための再配置・集約化、老朽改修の計画及び省エネ対策等を含んだ「マスター プラン」を策定。



学識経験者による専門部会の設置、現地視察

最適化事業の実施にあたっては、自衛隊の運用を止めることなく、短い間に集中的に整備を実施する必要があることから、E C I 方式（技術提案・交渉方式）で契約を進めることができます。

E C I 方式は、設計業務に対して、別途発注する技術協力業務の受注者が、施工者の視点から技術協力をを行い、その後の工事の優先交渉権が付与される方式です。このため、手続きの透明性、公平性を確保する必要があることから、入札・契約手続きの各段階において、学識経験者（専門部会）からの意見を聴取することとされています。

本年2月、この意見聴取を行う学識経験者で構成される専門部会を北海道防衛局に設置したことを受け、2月27日、学識経験者5名にR6年度以降に最適化事業を実施予定の空自・千歳基地、陸自・札幌駐屯地の施設の老朽化の状況などを視察いただき、自衛隊施設を強靭化するための最適化事業の理解の資としていただきました。

千歳基地の現地視察



札幌駐屯地の現地視察



最適化事業の発注予定、入札公告

北海道防衛局ホームページ、X（旧ツイッター）の入札・契約情報では最新の情報を隨時掲載しています。ご確認ください。

自衛官採用案内

募集種目	受付期間	試験日	合格発表
自衛官候補生	年間を通じて 行っております。	各地方協力本部にお問い合わせください。	
第1回一般曹候補生	3月1日から 5月7日まで	1次:5月17日～26日 2次:6月15日～30日	1次:6月 6日 最終:7月18日
第1回幹部候補生 (一般)	3月 1日から 4月12日まで	1次 :4月20日・21日 (4月21日は海・空飛行要員のみ) 2次 :5月24日～30日 3次 :(海) 6月20日～ 6月24日 (空) :7月13日～ 8月1日	1次:5月17日 2次(海・空飛行要員のみ) (海):6月13日 (空):6月17日 最終:(陸) 7月 4日 (海) 7月11日 (空) 8月22日
第1回幹部候補生 (歯科・薬剤科)	3月 1日から 4月12日まで	1次:4月20日 2次:5月24日～30日	1次 :5月17日 最終 (陸):7月 4日 (海空):7月11日
第2回幹部候補生 (一般) ※飛行要員を除く (歯科・薬剤科)	4月24日から 6月13日まで	1次 :6月22日 2次 :7月30日～8月5日	1次:7月18日 最終:9月19日

自衛官募集中!

お問合せはお近くの地方協力本部まで!



札幌地方協力本部
011(631)5472

函館地方協力本部
0138(53)6241

旭川地方協力本部
0166(51)6060

帯広地方協力本部
0155(23)5882

@sapporo_PCO
@SDFhakotti
@asahikawa_PCO
@hp10bihropco

